

# 詩の朗読と音楽の夕べ

あの日から15年

2010年 1/17 OPEN 18:00  
START 18:30  
sun

会場：神戸新聞松方ホール TEL.078(362)7111

前売り ¥2500 当日 ¥3000 全席自由席

1.17

メモリアルコンサート

竹下景子



竹下景子



林晶彦 (作曲・ピアノ)

大震災から15回目の「1・17」が巡ってきました。いつもこの日は特別な日です。震災から学んだ安心、安全、平和の大切さ、人の絆、共に悲しむ心。あの時、感じたこと、学んだことに想いを致し、震災に限らない私たちの実際の体験から、どうしても伝えたいメッセージを「詩」に託して寄せていただきました。今年も竹下景子さんが詩を朗読され、林晶彦さんが音楽をよせピアノ演奏されることによって「詩」がより豊かに輝き、世界の人々に語りかけます。またゲストには震災追悼「祈りのコンサート」を「木のホール」(神戸市西区岩岡)で10年連続おこなった板橋文夫「ミックスダイナマイトトリオ」をお迎えして、すばらしい演奏を披露していただきます。

林晶彦 ピアニスト・作曲家として世界各地で演奏活動を展開。このメモリアル・コンサートには最初から加わっており、癒しと祈りを表現する演奏は竹下景子さんの朗読とコラボレートしてこのコンサートを、より意義深いものとしています。

●板橋文夫(ピアノ) 栃木県足利市生まれ。国立音大付属高から音大進学後、先輩の本田竹広氏(宮古市出身)のジャズピアノを聴いて開眼し、学年トップクラスのクラシックからジャズに転向。以後、渡辺貞夫、日野皓正、森山威男グループを経て、エルビン・ジョーンズのワールドツアー、自己のトリオやミックスダイナマイトでの活動。全国の幼稚園、小中学校での演奏交流、アフリカツアー、幅広いジャンルの芸術家との交流など、全身汗びっしょりになりながらの激しく目つりリカルなピアノは、聴衆の心を打たずにはられない。名実共に日本を代表するジャズピアニストである。

●井野信義(ウッドベース) '71年、高柳昌行カルテットに加入し大きな影響を受ける。'79年、ドイツのメルス・ジャズ・フェスティバルに出演し海外でも高い評価を得る。24歳のとき日野元彦と出会い、リズムセクションとして多くのジャズメンと共演。'80年、初リーダー・アルバム「マウンテン」を発表。'83年よりヨーロッパツアーが頻繁になり、ヨーロッパにおけるほとんどのジャズ・フェスティバルに出演。現在は、板橋文夫グループ、斉藤徹duo、またsolo演奏と精力的な活動を展開。

●小山彰太(ドラムス) 山下洋輔トリオに7年間在籍。'79ニューポートジャズフェスティバル(NY)、『80インド「ジャズヤトラ」他、スイス、オランダ、ドイツなどのジャズフェスティバル、『07から小山彰太トリオを結成。

板橋文夫  
ミックスダイナマイトトリオ



板橋文夫(ピアノ)



井野信義(ウッドベース)



小山彰太(ドラムス)

チケットの申し込み 神戸新聞松方ホール 078(362)7191 しみん基金こうべ 078(230)9774 兵庫県子ども文化振興協会 078(241)5102 ギャラリー島田 078(262)8058  
お取り扱い口座 郵便振替口座番号：00960-2-296713 口座名義：ぼたんの会実行委員会

主催：ぼたんの会実行委員会 / 復興支援コンサート実行委員会 協力：(財)神戸新聞文化財団 後援：神戸市 / 神戸市教育委員会 / 兵庫県芸術文化協会

協賛： KISUI HOUSE / ポックン / sanica / 株式会社フェリシモ

\* ぼたんの会実行委員会(代表 黒田裕子)は、阪神・淡路大震災のあと生まれた NGO/NPO 14 団体によって構成され、この会の収益はそうした活動に寄付されます。